

音楽 I ワークシート	「交響曲第 9 番 ニ短調 op.125 《合唱付き》から第 4 楽章」を鑑賞し、 《歓喜の歌》を歌おう		教科書 『MOUSA 1』	P.56 ドイツ語の歌を歌おう P.60 歓喜の歌 P.132 音楽を織りなすさまざまな要素 P.134 交響曲第 9 番 ニ短調 op.125 《合唱付き》から第 4 楽章 P.146 西洋音楽の流れ（古典派の音楽） P.148 オーケストラを知ろう P.153 西洋音楽の用語と記号、楽器名の略表記	
	氏名		評価		

① 教科書 P.60、P.134、P.146、P.148 を読み「交響曲第 9 番 ニ短調 op125《合唱付き》から第 4 楽章」やその作曲者について、次の文章を完成させよう。[知]

ベートーヴェンは、() 派の作曲家で、() や W.A.モーツァルトの影響のもとに革新的な音楽を創造し、中期以降の作品ではロマン派的性格も予見させた。
交響曲第 9 番《合唱付き》は、1824 年に完成し、() で初演された。() つの楽章からなり、最終楽章である第 () 楽章には、独唱や ()、合唱が導入されている。歌詞には、() の詩人シラーが () 年に発表した『歓喜に寄す』が用いられている。ベートーヴェンは、() 時代にこの詩と出会って以来、付曲の構想をあたため、この交響曲で完成に至った。

② 「交響曲第 9 番 ニ短調 op125《合唱付き》から第 4 楽章」(教 P.134) を読んだり音楽を聴いたりしながら、曲の構成を把握しよう。

- 1) 「バリトン独唱によるレチタティーヴォと『歓喜の主題』A」「四重唱とそれに続く四部合唱」の部分聴いて、説明として正しいものには () に○を、間違っているものにはその箇所に下線を引き正しい答えを () に書こう。[知]
- ア レチタティーヴォの冒頭には、シラーによる詩が付けられている。… ()
- イ レチタティーヴォとは、話し言葉を模倣するような歌唱法である。… ()
- ウ 「歓喜の主題」は、最初、テノールの独唱によって演奏される。… ()
- エ 四重唱は、ソプラノ、アルト、テノール、バリトン計 4 人の独唱によるものである。… ()

2) 「四部合唱による『歓喜の主題』A」の前のオーケストラによる演奏」「四部合唱による『歓喜の主題』A」の部分聴いて、次の問いに答えよう。

- (1) 譜例に示されている楽器や用語の説明として、正しいものには () に○を、間違っているものにはその箇所に下線を引き正しい答えを () 欄に書こう。(教 P.148、P.153 参照) [知]
- ア 「Cl.」は、金管楽器クラリネットの略表記である。… ()
- イ ファゴットはバスーンとも呼ばれる木管楽器で、略表記は「Fg.」である。… ()
- ウ 「Vc.」と「Cb.」は、どちらも打楽器である。… ()
- エ 「Vl.」はヴァイオリンの略表記で、「Vl.Ⅱ」とは第 1 ヴァイオリンのことである。… ()
- オ 「Allegro」は「速く」、「assai」は「非常に」、「Vivace」は「速く活発に」という意味である。… ()

(2) 「四部合唱による『歓喜の主題』A」の部分を、前後の演奏やオーケストラの演奏にも注目しながら聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを書こう。(教 P.132 参照) [思・判・表/主]

3) 「『抱擁の主題』B」、「合唱とオーケストラによる表現」「『歓喜の主題』A」と『抱擁の主題』Bによる二重フーガ」の部分聴いて、次の問いに答えよう。

(1) 説明として正しいものには () に○を、間違っているものにはその箇所に下線を引き正しい答えを () に書こう。[知]

- ア 「抱擁の主題」は、「歓喜を受けよ、何百万の人々よ!」という歌詞で始まる。… ()
- イ 「ひれ伏しているか、何百万の人々よ?」の部分は、信心深く敬虔に演奏する。… ()
- ウ フーガとは、1 つの主題が複数の声部に模倣、反復される作曲技法である。… ()
- エ 二重フーガの冒頭、ソプラノとアルトはそれぞれ同じ主題を歌う。… ()

(2) 「『歓喜の主題』A」と『抱擁の主題』B」を聴いてそれぞれの音楽的な特徴を比較し、聴き取ったことや感じ取ったことを書こう。(教 P.132 参照) [思・判・表/主]

(3) 「『歓喜の主題』A」と『抱擁の主題』Bによる二重フーガ」を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったこと、なぜ作曲者がこの部分で二重フーガを用いたと思うかを書こう。(教 P.132 参照) [思・判・表/主]

③ 《歓喜の歌》を歌おう。

1) 「ドイツ語の歌を歌おう」(教 P.56) を読み、次の文章を完成させよう。[知]

ドイツ語の発音は、ほぼ () 字読みでよいが、日本語にはない母音や子音がある。また、アクセントは () の母音に置かれることが多い。
「o」にウムラウトが付いた「ö」は、「オ」の口で「()」と発音する。() 母音の「au」は、「アウ」と発音する。「()」は、声を出さずに、息の音だけで「シュ」と発音する。

2) 《歓喜の歌》(教 P.60) を歌おう。[技/思・判・表/主]

3) 《歓喜の歌》を歌った感想や、演奏するときに気を付けたことや工夫したことを、「交響曲第 9 番 ニ短調 op125《合唱付き》から第 4 楽章」を鑑賞したことに関わらせて書こう。[思・判・表/主]

④ 鑑賞したことや実際に歌ったことをもとに、「交響曲第 9 番 ニ短調 op125《合唱付き》から第 4 楽章」のよさや美しさについて考えたことを書き、意見交換しよう。[思・判・表/主]